

令和2年度第4回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和2年7月21日（火） 10時30分～11時46分
場所	Web会議
出席者	学長，渡理事，山下理事，寺本理事，岩本副学長・全学教育機構長，山崎副学長・事務局長，佐々木監事，板橋教育学部長，吉住芸術地域デザイン学部長，檜澤経済学部長，末岡医学部長，豊田理工学部長，小林農学部長，山下附属病院長，高椋総合分析実験センター長，大島附属図書館長
欠席者	なし
陪席者	鯉川学長補佐，倉岡学長補佐，小野学長補佐，早瀬学長補佐，穴井学長補佐，後藤学長補佐，三島学長補佐，只木学長補佐，山口学長補佐，西郡学長補佐，吉永学長補佐，伊藤地域学歴史文化研究センター長，池上海洋エネルギー研究センター長，郭シンクロトン光応用研究センター長，矢田肥前セラミック研究センター長

○ 学長から，令和2年度第2回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

- (1) 令和3年度国立大学運営費交付金の重点支援等に係る概算要求の方向性について

財務課長より，本件について，令和3年度国立大学運営費交付金の重点支援に係る概算要求に向け，文部科学省より情報提供があり，「3つの重点支援の枠組み」による重点支援等，それらの内容について説明があった。

学長より，成果を中心とする実績状況に基づく配分について，今年度減額となっており，来年度以降も拡大する予想であることから，各学部等で対応いただきたい旨の発言があった。

- (2) THE世界大学ランキング（日本版）2020の結果の詳細について

西郡IR室長より，本件について，3月末にランキング結果が発表され，分析を行ったところ，全体的な順位及び教育リソース，教育充実度，教育成果，国際性のいずれの分野についても，昨年度より低下している旨，ランキング指標の概要，佐賀大学のスコアの推移及び経年比較について説明があり，次いで，分析結果をもとに，新しく考えられる対応策について，説明があった。

- (3) 令和元年度「全国学生調査（試行実施）」の結果について

山下理事より、本件について、文部科学省が主導して行う大規模な調査であり、本調査を通じて、本学各学部の特徴を分析し、今後の教育改善に資するための報告を行うものである旨、説明があり、次いで、調査結果平均値一覧及び本学学部の調査結果と全国の同分野・同規模学部の調査結果の比較について説明があった。加えて、本調査で明らかとなった各学部の強みや弱みに対応するため、次回の大学運営連絡会にて、各学部よりコメントを依頼する旨の発言があった。

(4) 評価反映特別経費（業務の評価）に係るデータの現況について

西郡 I R 室長より、本件について、各評価項目に係る必要データについて、各部局より集まっており、数値等不備がないか各部局において確認いただきたい旨、今後のスケジュールについて説明があった。

学長より、各評価項目に係る必要データのうち、再度確認いただきたい点について説明があった。

(5) 令和元（平成31）年度監事監査報告及び内部監査報告に対する改善等措置について

総務課長より、令和元（平成31）年度監事監査報告について、国立大学法人佐賀大学監事監査規則に基づき、本年2月に監事監査結果報告書が監事より提出されたことに対し、学長は改善等措置について監事に通知する必要があるため、各部局長等が該当する指摘事項について改善策を検討、実施した上で、その内容について、監事とあらかじめ協議した結果を取りまとめたものについて、次の役員会にて審議いただく旨、説明があり、次いで、令和元（2019）年度内部監査報告について、国立大学法人佐賀大学内部監査規程に基づき、同じく本年2月に内部監査報告書が監査室長より学長及び監事に提出されたことに対し、各部局等が対策及び措置を講じ、学長へ提出されたものについて説明があった。

学長より、一部修正する箇所について、学長一任とさせていただく旨の説明があった。

(6) 教育学部附属学校及び総合分析実験センターにおける予算の追加措置について

1) G I G A スクール構想の実現に向けて

板橋教育学部長より、本件について、G I G A スクール構想の背景、ネットワーク環境及びP C 等端末環境の整備内容及び整備に必要な経費について説明があった。

学長より、P C 端末について、数年後に全て置き換えなければならない場合、それに伴った大きな予算の負担がかかることも予想されるため、全国的な動きを見ながら検討いただきたい旨、学部負担も検討するとのことについて、附属学校の赤字が続いていることから、予算の見直し等を行って、附属学校の赤字体質を改善してほしい旨、発言

があった。

2) 総合分析実験センター改修について

高椋総合分析実験センター長より、老朽化したR I 実験施設について、効率的な施設の維持・運営に資するため、本庄及び鍋島キャンパスに分散されている共同利用設備を集約配置し、新共用システム化を見据えた機能向上を図る旨、本庄・R I 実験施設の廃止スケジュール、支出・収入一覧および不足額について、説明があった。

学長より、予算負担について、予算の一部について受益者負担を行うことはできないかという提案があった。これに対し、高椋総合分析実験センター長より、医学部において予算の一部を負担できないかと医学部長に打診があり、医学部長より、検討する旨の回答があった。

(7) その他

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

西郡 I R 室長から、月例データの分析に基づく気づき事項について説明があり、次いで、各部局長から、前回の気づき事項への対応を含む月例報告があった。

(2) その他

特になし

【 その他 】

以 上